



田野 香織



高橋 祐子

いながわ 特派員報告

発見！広根・猪泷遺跡

先人たちの暮らしを明らかに

新名神高速道路の高槻―神戸間は、平成28年度内の開通を目指し、工事が進められています。(P.2参照)
これに伴い、兵庫県まちづくり技術センター(県立考古博物館内)では、町内の高速道路建設予定地を調査し、発見された広根遺跡と猪泷遺跡の発掘調査を行ってきましました。
今回は、その調査状況についてお知らせします。

広根遺跡

平成23年より発掘調査が行われ、これまでの調査で縄文時代から近世にわたる複合遺跡であることが分かりました。
広根遺跡の中心は、鎌倉時代から室町時代の多田荘名主層のものと思われる屋敷跡です。
山のある北側を除く三方を堀に囲まれた広大な屋敷跡(東西約45m×南北約30m)からは、5棟以上の掘立柱建物跡や井戸、木棺墓などが見つかりました。

中世のゆるキャラ？ 犬形土製品

水田わきの水路から見つかった犬形土製品。体長約5cm、垂れ耳とくるりと巻いたしっぽが特徴で、子犬のように見えます。
犬形土製品が多数見つかったのは、子どものおもちゃとして使われていたと考えられますが、広根遺跡では水路から見つかったため、水に関するお守りや魔よけだったのかも知れません。



▶ 広根遺跡の屋敷跡(南側から撮影)

出土した暮らしの跡

- ◆古墳時代後期の遺構(柱穴など)
 - ◆室町時代以降の耕作痕跡
 - ◆近世酒造りの遺構、かまど
 - ◆縄文時代の土器・石器
 - ◆弥生時代前期の土器・棺
 - ◆室町時代の赤間石の硯
 - ◆織豊時代の犬形土製品
- 特に赤間石の硯と犬形土製品は注目を集め、2月28日の新聞5紙が広根遺跡に関する記事を大きく取り上げました。

出土が非常にめずらしい 赤間石の硯

山口県の赤間石を使った硯が見つかり、筆置きと水差し置きが一体になった硯箱の一部と思われる。



猪泷遺跡

広根遺跡の南西方向、猪泷川の対岸に位置し、平成24年より発掘調査が行われています。

出土した暮らしの跡

- ◆掘立柱建物跡 1棟
 - ◆畑の跡
 - ◆木棺墓、土葬墓
 - ◆瓦器椀、青磁椀、白磁椀
 - ◆中国製の施釉陶器耳壺
- これらは、鎌倉時代に存在し、当時の名主層の屋敷であったと考えられます。
床面積約83.4㎡を誇る大型の建物跡ですが、なぜ日当たりの悪い北向き斜面に住居を構えていたかなど謎の多い遺跡です。

写真左から現場説明会での様子、猪泷遺跡全景(西側から撮影)



～ 発掘調査の様子 ～

2月28日、広根遺跡の発掘調査の現場を見学しました。ショベルで遺跡の表土を掘り下げたあと、数十名の発掘調査員がくわやスコップなどを使い、手作業でいねいに遺跡の全貌を明らかにしていきます。
これらの遺跡は細かく記録に残され、発掘調査終了後は高速道路が建設されます。



～ 広根・猪泷遺跡の現地説明会 ～

兵庫県まちづくり技術センターによる両遺跡の発掘調査の現地説明会が、3月2日に開催されました。

当日は雪の降りしきる中、町内だけでなく、近隣市町などからも多くの人が集まり、参加者数は260人にもなりました。

参加者は現地に到着後、テント内に展示された犬形土製品や赤間石製の硯、青磁椀、瓦器椀などの出土品を観賞。その後、まちづくり技術センターの職員に説明を受けながら遺跡を見学しました。



ここが知りたい！

県の調査担当者に聞きました

◆今回発見された広根遺跡と猪泷遺跡ですが、工事前から遺跡の存在は確認されていたのですか？

遺跡が発見された場所の地表には、土器などの破片が落ちており、おそらくこのあたりに遺跡が眠っているだろうと予想されていました。
県の教育委員会が平成18年に新名神用地における遺跡の分布調査を行い、同22年に改めて遺跡確認調査を行いました。

◆具体的な調査の方法は？
トレンチ調査(試し掘り)によって遺跡の有無や分布状況を調べます。これにより遺跡の存在が明らかになり、全面調査へと進みます。

編集後記

遺跡と聞くと、奈良や京都を想像しますが、町内にも古代から人々が生活していたことが今回の調査で明らかになりました。
県立考古博物館(加古郡播磨町)では県内の発掘調査と出土品整理による最新の研究成果を公開中です。

ふおと にゅ〜す

町表彰式で9人と2団体を表彰



▲2月22日、町の各分野で功績のあった人や団体を表彰する町表彰式を開催しました。

地域の発展と住民福祉に貢献のあった3人に「ツツジ賞」、スポーツ活動で貢献した1人に「スポーツ賞」、また、各分野で貢献のあった5人と2団体に「感謝状」を贈りました（順不同・敬称略）。

【ツツジ賞】上田政夫・坂井征雄・奥村眞事 【スポーツ賞】松村航希 【感謝状】猪名川荘苑ボランティアクラブ・大石英敏・三浦市三郎・岸岡洋一郎・増田郁雄・藤本守・フラワーワーククラブ

公民館フェスタに800人集う



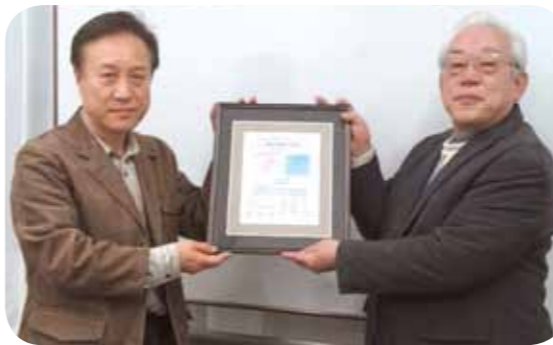
▲▶2月24日、中央公民館で第11回公民館フェスタが開催され、公民館を拠点とする公民館登録グループが、日頃の活動の成果を発表しました。

約800人の参加者は、絵画・陶芸・手芸などの展示や詩吟・コーラス・大正琴・ギター・マンドリンなどの演奏を楽しみました。

◀1月27日、米国立スミソニアン博物館が小惑星19230を学名「Sugazi」と命名（写真中央が認定証）されました。これは、猪名川天文台田中須賀治台長（写真右）の功績を称え、命名提案者山田義弘さん（写真左）から提案があったものです。

この小惑星は平成5年に円館金さんと渡辺和郎さんが発見し、直径約11.5km、3.25年で太陽の周りを回っています。

小惑星に「Sugazi」と命名



◀3月10日、いなぼうがノエピアスタジアム神戸に行き、サッカーJ2リーグのヴィッセル神戸を会場のサポーターとともに応援しました。

また、場外の観光PRブースでは、観光パンフレットや春雨セットの試食で猪名川町をPRしました。

いなぼうがヴィッセル神戸を応援！

菜の花が満開、桜ももうすぐ...

▼県道川西篠山線の沿道では、菜の花が黄色いじゅうたんのよう咲き誇り、桜の開花も間近です。



楊津小学校で「ほんもの体験学習」

▼2月21日と28日に、楊津小学校の「ほんもの体験学習」で、跳び箱教室と縄とび教室が開催され、全校生徒が参加しました。

児童たちは、講師の指導員から跳び箱の手のつき方などを学び、きれいに跳べるようになりました。縄とびでは、ダブルダッチにも挑戦しました。



阿古谷小学校で最後の卒業式

▲3月19日、阿古谷小学校で最後の卒業式が開催され、10人の卒業生が在校生・教師・保護者・地域のみなさんなど多くの参加者に見守られる中、学び舎を巣立って行きました。

同小学校は、創立140周年の歴史に幕を閉じ、4月から松尾台小学校に統合されます。



猪名川小学校がありがとうコンサートを開催



▶3月7日、猪名川小学校6年児童による「ありがとうコンサート」がイオン猪名川店3階で開催されました。

たくさんのお客様の前で緊張した面持ちの児童たちでしたが、堂々と歌や演奏をアンコールも含め6曲を披露しました。



阿古谷小学校に「だんまるの紙芝居」登場！

◀3月8日、阿古谷小学校で「だんまるの紙芝居」が開催され、全校児童と教師・保護者が校庭で昔懐かしい紙芝居を楽しみながら鑑賞し、だんまるさんの巧みなお話に魅了されました。

